



TIS

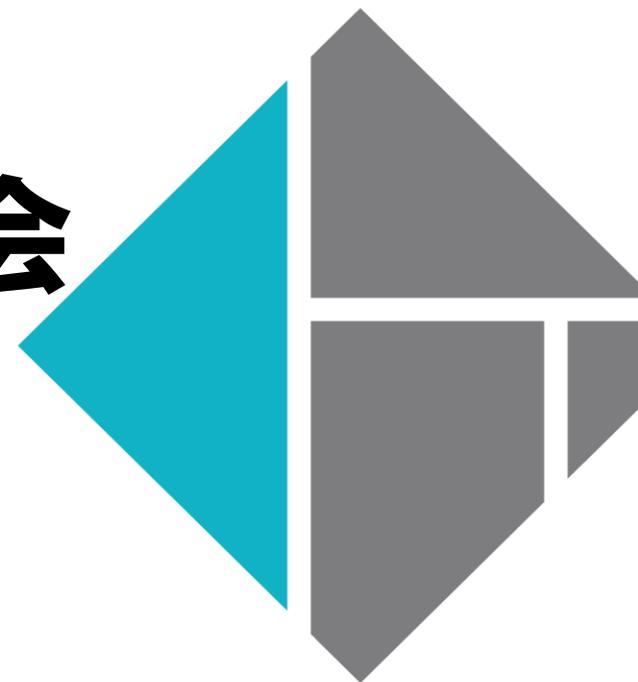
TIS INTEC Group

Go Beyond

TIS株式会社

第10期定時株主総会

平成30年6月26日(火曜日)



第10期定時株主総会

目的事項(報告事項・決議事項)

報告事項

1. 第10期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第10期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)計算書類報告の件

決議事項

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 第1号議案 | 剰余金処分の件 |
| 第2号議案 | 取締役9名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査役1名選任の件 |
| 第4号議案 | 取締役等に対する業績連動型株式報酬等の額および内容決定の件 |

質疑応答

議案の採決

第10期定時株主総会

議決権を有する株主数

株 主 数 **8,501名**

総株主の議決権数

議 決 権 数 **854,161個**

監査役会の監査報告

1. 事業報告等の監査結果

事業報告およびその附属明細書	→ 適法
取締役の職務の執行	→ 適法
内部統制システムに関する内容等	→ 相当

2. 計算書類およびその附属明細書の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

3. 連結計算書類の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

報告事項

1. 第10期 事業報告

- 事業の経過およびその成果
- 対処すべき課題

2. 第10期 連結計算書類

3. 第10期 計算書類

事業の経過および成果

当社グループを取り巻く環境

我が国経済

- ✓ 企業収益や雇用情勢の改善等により、緩やかな回復基調



情報サービス産業

- ✓ 日銀短観におけるソフトウェア投資計画が前年度比増加



**デジタル経営への志向を強める企業の
IT投資動向の強まりを反映し、
事業環境は好調に推移**

事業の経過および成果

業績：平成30年3月期（当連結会計年度）

平成29年4月1日～平成30年3月31日

（単位：百万円）

平成30年3月期（第10期）		
売上高	405,648	+3.1%
営業利益	32,743	+21.2%
経常利益	32,795	+21.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,620	+26.5%

事業の経過および成果

業績：平成30年3月期（当連結会計年度）

平成29年4月1日～平成30年3月31日

（単位：百万円）

平成30年3月期（第10期）		
売上高	405,648	+3.1%
営業利益	32,743	+21.2%
経常利益	32,795	+21.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,620	+26.5%

事業の経過および成果

業績：平成30年3月期（当連結会計年度）

平成29年4月1日～平成30年3月31日

（単位：百万円）

平成30年3月期（第10期）		
売上高	405,648	+3.1%
営業利益	32,743	+21.2%
経常利益	32,795	+21.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,620	+26.5%

事業の経過および成果

業績：平成30年3月期（当連結会計年度）

平成29年4月1日～平成30年3月31日

（単位：百万円）

平成30年3月期（第10期）		
売上高	405,648	+3.1%
営業利益	32,743	+21.2%
経常利益	32,795	+21.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,620	+26.5%

事業の経過および成果

業績：平成30年3月期（当連結会計年度）

売上高  前期比：増収

- IT投資動向が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前期を上回りました。

利益面  前期比：増益
（営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益）

- 収益性向上に向けた取り組みが、競争力強化に向けた販管費の増加を吸収し、前期比増益となりました。

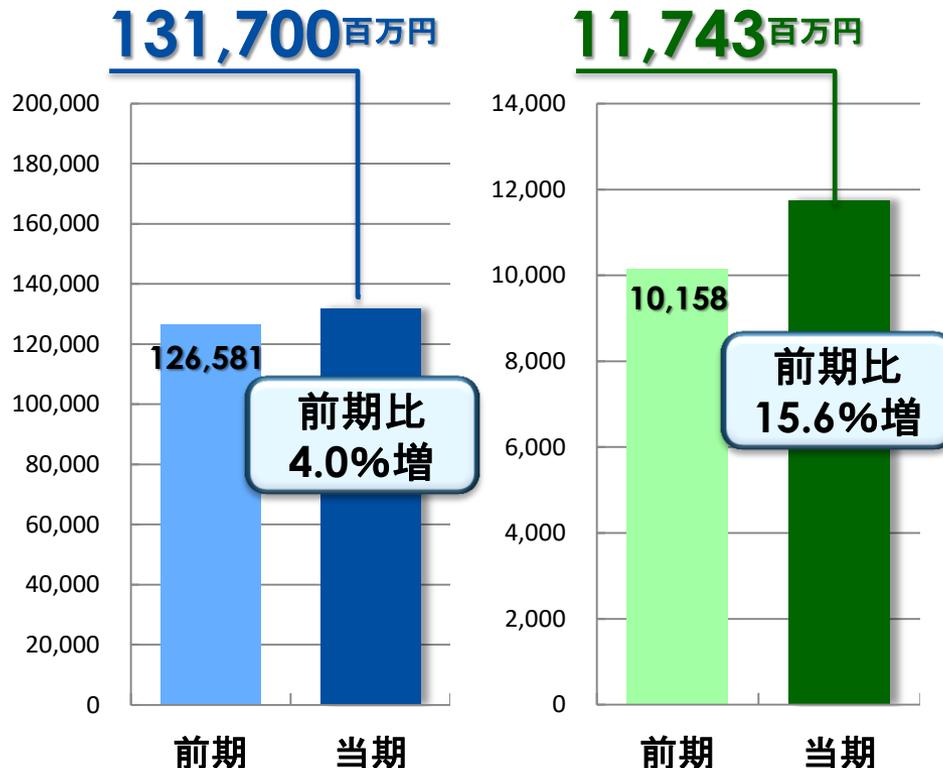
事業の経過および成果

セグメント別の状況：平成30年3月期（当連結会計年度）

ITインフラストラクチャーサービス

売上高

営業利益



- 公共系大型運用案件の寄与
- クラウド関連ビジネスの拡大等に伴うデータセンター事業の堅調な推移
- BPO事業の拡大

増収・増益

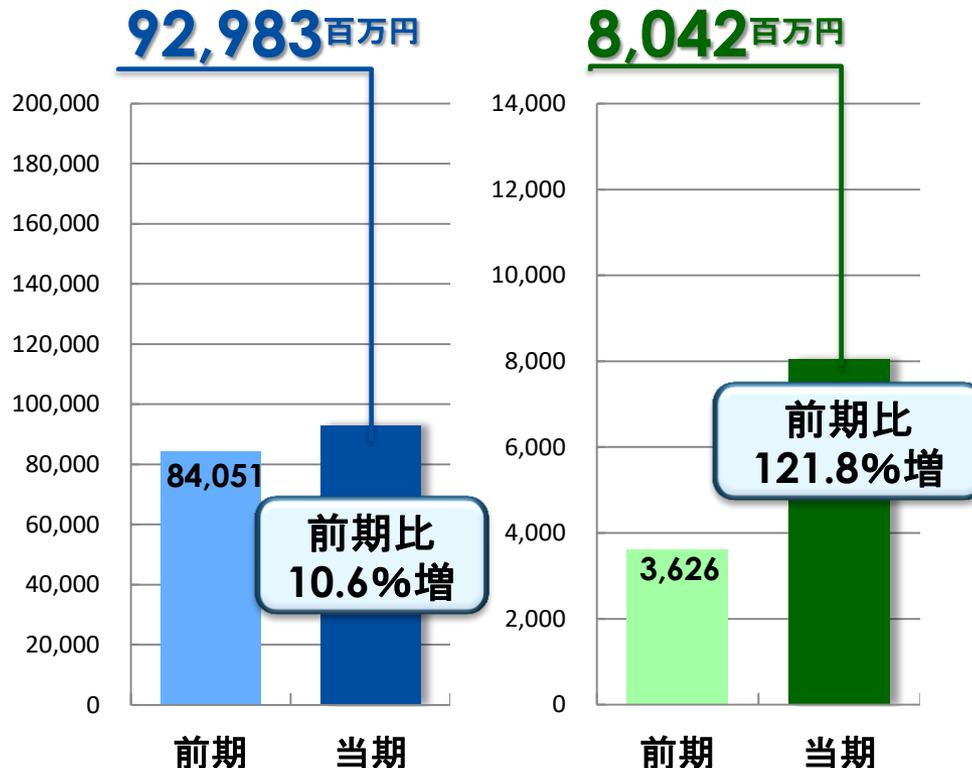
事業の経過および成果

セグメント別の状況：平成30年3月期（当連結会計年度）

金融ITサービス

売上高

営業利益



- クレジットカード系の大型開発案件の寄与
- 決済関連分野におけるIT投資拡大の動きに伴う事業拡大
- 不採算案件の抑制効果等

増収・増益

事業の経過および成果

セグメント別の状況：平成30年3月期（当連結会計年度）

産業ITサービス

売上高

188,626百万円



営業利益

12,835百万円



- 大型開発案件の反動減
- 製造業におけるERP更新需要やIT投資拡大の動き等

売上高は前期並

- 収益性向上に向けた取り組みの進展
- 今後の競争力に向けた費用の増加等

利益も前期比小幅増

事業の経過および成果

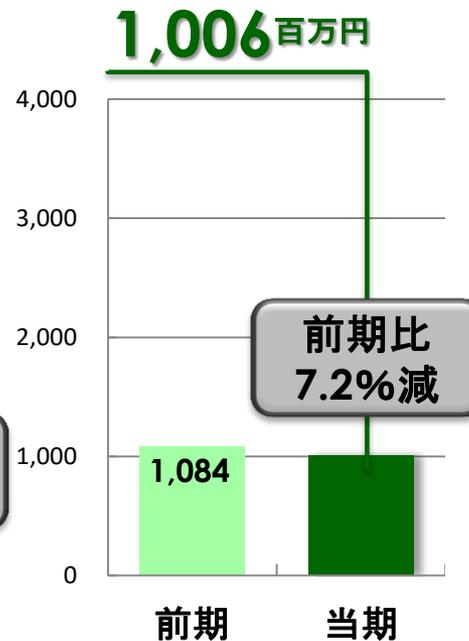
セグメント別の状況：平成30年3月期（当連結会計年度）

その他

売上高



営業利益



事業の経過および成果

第3次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

基本コンセプト	グループ経営方針（平成30年3月期）
利益重視	①「利益重視の経営」の更なる徹底
ITブレイン (付加価値ビジネス拡大)	②成長エンジン構築のための 更なる先行投資
ポートフォリオ経営	③事業持株会社体制を活かした グループ内事業連携の強力推進、 スピーディな構造改革の実施

**グループの変革を通じたさらなる成長と
企業価値の向上に向けた諸施策を推進**

事業の経過および成果

第3次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

①利益重視の経営の更なる徹底

大型案件の着実な推進

- ✓ 全社的なマネジメント・モニタリングを徹底し、予定通り公共系大型案件は完了

生産革新施策の強力な推進

- ✓ 生産革新施策が着実に進展し、重要課題である不採算案件の抑制を実現

事業の経過および成果

第3次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

②成長エンジン構築のためさらなる更なる先行投資

決済関連分野の更なる強化

- ✓ QRコード決済領域とカード決済領域において、中国Fintech企業『上海訊聯数据服务有限公司（CardInfoLink）』と資本・業務提携
- ✓ 日本・東南アジアにおけるQRコード決済事業と中国におけるカードプロセッシング事業を共同推進

事業の経過および成果

第3次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

②成長エンジン構築のためさらなる更なる先行投資

AI・IoT等の新技術関連分野への事業拡大

- ✓ 様々なソリューションの企画開発・実証実験
- ✓ 専任組織の設置
- ✓ スタートアップ・ベンチャー企業への出資・協業を通じた体制整備
- ✓ 「TISインテックグループ・シリコンバレー・イノベーション・ラボ」を新設

事業の経過および成果

第3次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

③事業持株会社体制を活かしたグループ内事業連携の強力推進、スピーディな構造改革の実施

グループ重点施策、協業施策の検討・推進

- ✓ **グループのデータセンターを「DCAN」に統合し、相互サービス提供や利便性向上による競争力強化**
- ✓ **グループ内BPO事業を新拠点「Biz TRUXIA」へ拠点集約し、更なる統合効果の発揮を図る**

事業の経過および成果

第3次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

新グループビジョン2026の策定・発表

2026年に目指す企業像

Create Exciting Future

先進技術・ノウハウを駆使しビジネスの革新と市場創造を実現する

事業の経過および成果

第3次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

「働き方改革」への積極的な取り組み

- ✓ 「モチベーションの向上」、「職場環境の向上」、「労働環境の向上」の観点から諸施策を推進

女性の活躍推進に関する取り組み

- ✓ TIS、インテック、アグレックス、ITサービスフォースが認定マークの「えるぼし」の最高位を取得

事業の経過および成果

第3次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

**株主利益および資本効率の向上を図るため、
自己株式の取得を実施**

- ✓ **取得期間** : 2017年5月～2017年7月
- ✓ **取得株式数** : 908,300株
- ✓ **取得価額の総額**: 2,859,885,484 円

事業の経過および成果

第3次中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

第3次中期経営計画の成果

**売上高や営業利益など
全ての計数計画を大きく上回る成果**

**基本コンセプトに基づく
施策の多くが着実に進展**

設備投資の状況・資金調達の状況

設備投資の状況 資金調達の状況

**「招集ご通知」
26頁に記載**

対処すべき課題

当社グループの対処すべき課題

グループビジョン「Create Exciting Future」
が目指す理想の実現

更なる企業価値の向上

✓ スピード感を持って
構造転換を実現

✓ 4つの戦略ドメイン
を拡充

対処すべき課題

当社グループの対処すべき課題

構造転換の必要性を強く意識した二つの目標

持続的な利益成長

社員の自己実現重視

「継続的なスピードある構造転換」が必要

基本方針

コア事業への集中

先行投資型への転換

グローバル事業の拡大

対処すべき課題

コア事業への集中

**システムインテグレーションやITサービスでの
得意分野や重要・重点顧客ビジネスを
さらに強固なものとする**

- ✓ **グループ生産革新委員会の活動を通じた
各種施策による不採算案件の極小化**
- ✓ **エンハンスメント革新活動の推進**
- ✓ **既存事業への先端技術の組み込み**
- ✓ **アジャイルスクラム型開発へのスキル転換**

対処すべき課題

先行投資型への転換

**事業構造を転換し、
社会課題の視点から顧客に対して
先回りしたビジネスへ転換していく**

- ✓ AI、IoT、ロボット等の先端技術の研究
- ✓ 出資先のベンチャー企業との連携を深め、
事業創造を促進
- ✓ 顧客同士や顧客と社会をつなぎ、
お互いの成長を加速させる事業創造を推進

対処すべき課題

グローバル事業の拡大

ASEANでトップクラスの連合体を目指す

- ✓ 決済、銀行、ERP領域を強化
- ✓ 欧米、中国等、IT先進国企業との提携等を積極的に実施し、ソリューションを充実

対処すべき課題

人材の高度化

社員のQuality of Lifeの向上が最重要課題

- ✓ 「心身の健康」、「生活力の向上」、「働きがいの向上」を柱に、職場風土・環境の整備に取り組む
- ✓ 構造転換を牽引する人財像を定め、育成するとともに、グループでの最適配置を進める

対処すべき課題

経営管理の高度化

一層の経営ガバナンス体制の構築と整備の推進

- ✓ **グループビジョン策定と浸透活動の推進**
- ✓ **独立社外取締役の増員**
- ✓ **内部統制管理体系を整理・集約し、
グループ内部統制委員会に一本化**
- ✓ **決定プロセスの客観性・透明性を確保するため、
「指名委員会」・「報酬委員会」を設置**
- ✓ **事業ユニットを戦略ドメインの実現に向けた
組織体制へ改編**

対処すべき課題

新中期経営計画（2018年度～2020年度）

Transformation to 2020

グループ一体となり構造転換を実現し、
社会の課題解決をリードする企業へ

2021年3月期に目指す重要な経営指標

戦略ドメイン比率 50%

営業利益 430億円

営業利益率 10%

ROE 12%

財産および損益の状況

財産および損益の状況

企業集団の財産および損益の状況
当社の財産および損益の状況

「招集ご通知」
28頁から29頁に記載

その他の事項

その他の事項

企業集団の現況に関する事項(重要な子会社の状況他)

会社の株式に関する事項

会社役員に関する事項

会計監査人の状況

業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況

株式会社の支配に関する基本方針

剰余金の配当等の決定に関する方針

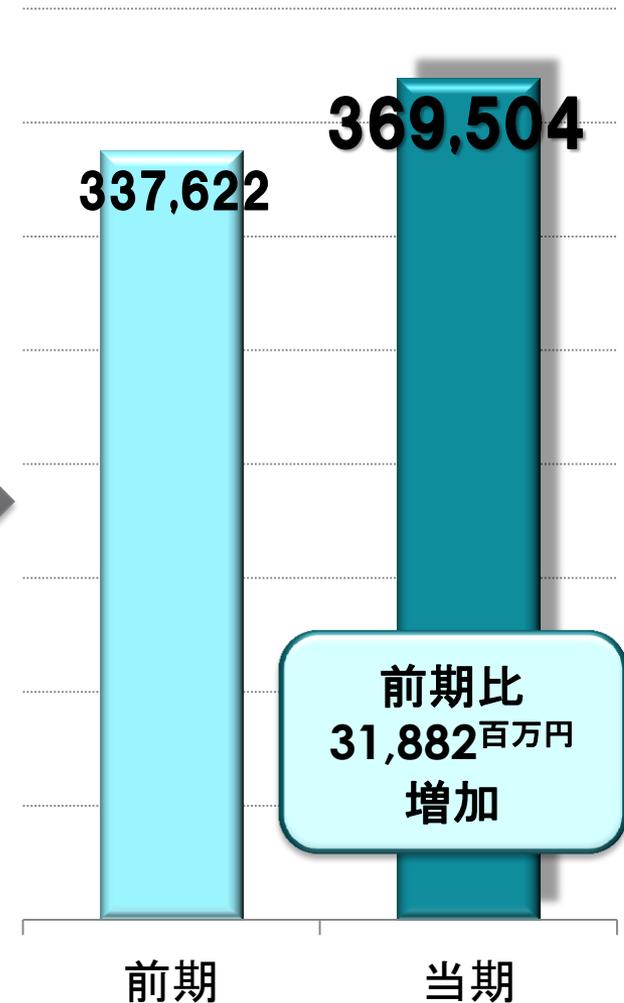
「招集ご通知」

30頁から46頁に記載

連結貸借対照表

(単位:百万円)

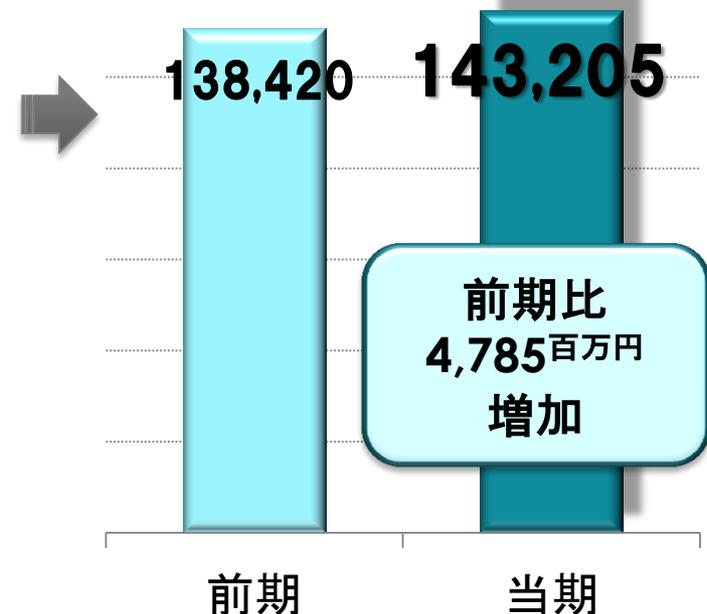
科目	平成30年3月期
(資産の部)	
流動資産	168,670
固定資産	200,833
資産合計	369,504



連結貸借対照表

(単位:百万円)

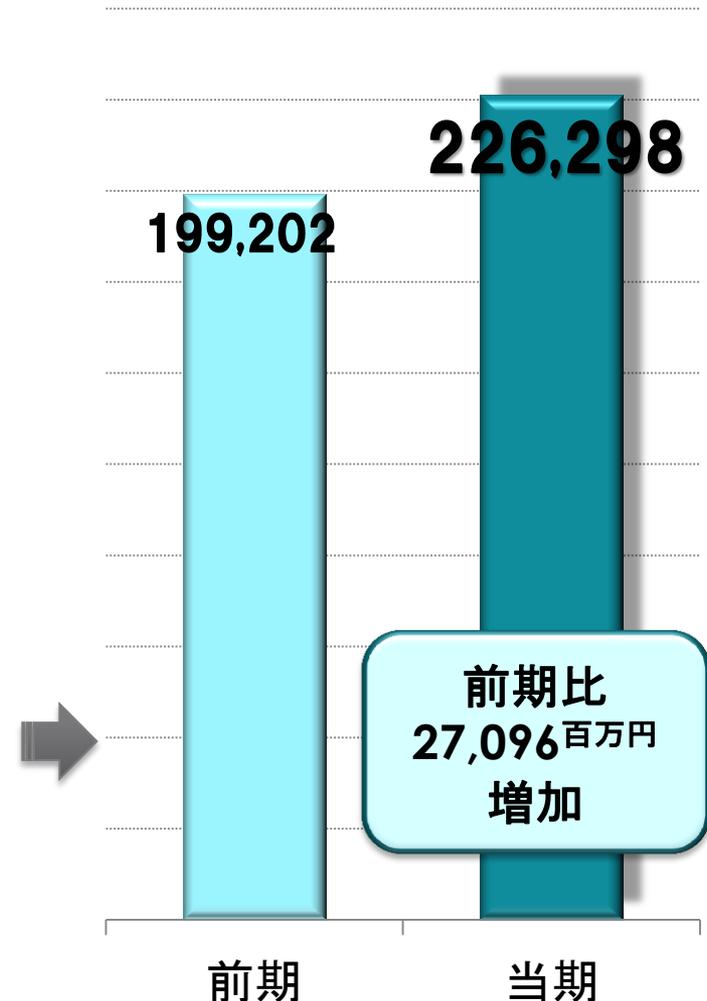
科目	平成30年3月期
(負債の部)	
流動負債	81,312
固定負債	61,893
負債合計	143,205
(純資産の部)	
純資産合計	226,298
負債・純資産合計	369,504



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	平成30年3月期
(負債の部)	
流動負債	81,312
固定負債	61,893
負債合計	143,205
(純資産の部)	
純資産合計	226,298
負債・純資産合計	369,504



連結損益計算書

(単位: 百万円)

平成30年3月期 (第10期)

高 上 売	405,648
営 業 利 益	32,743
経 常 利 益	32,795
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	20,620

連結損益計算書

(単位: 百万円)

平成30年3月期 (第10期)	
売上高	405,648
営業利益	32,743
経常利益	32,795
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,620

連結損益計算書

(単位：百万円)

平成30年3月期（第10期）	
売上高	405,648
営業利益	32,743
経常利益	32,795
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,620

連結損益計算書

(単位: 百万円)

平成30年3月期 (第10期)	
売上高	405,648
営業利益	32,743
経常利益	32,795
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,620

連結株主資本等変動計算書

連結株主資本等変動計算書

「招集ご通知」
49頁に記載

* * *

連結注記表

当社ウェブサイトに掲載
(法令および定款第16条の規定に基づく掲載)

当社の計算書類

貸借対照表・損益計算書 株主資本等変動計算書

「招集ご通知」
50頁から52頁に記載

* * *

個別注記表

当社ウェブサイトに掲載
(法令および定款第16条の規定に基づく掲載)

現在までにご報告した事項

事業報告

連結計算書類

計算書類 など

連結計算書類に関する監査結果報告

第1号議案

剰余金処分の件（招集ご通知:3頁）

基本方針

中長期の経営視点から
事業発展につなげる適正な内部留保を確保しつつ、
連結業績を勘案し、安定した配当を継続

この方針に基づき

自己株式取得を含む
総還元性向35%程度を目安に
剰余金の配当を決定

第1号議案

剰余金処分の件（招集ご通知:3頁）

期末配当(普通株式)

1株につき **26円**

（中間配当14円と合わせ、年間配当は1株につき40円）

総額 2,228,004,064円

＜効力発生日 平成30年6月27日＞

第2号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:4～15頁）

取締役全員(10名)
本定時株主総会終結の時をもって
任期満了

取締役9名選任
(再任4名、新任5名)

第2号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:4～15頁）



安達 雅彦
（あだち まさひこ）



岡本 安史
（おかもと やすし）

第2号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:4～15頁）



柳井 城作
（やない じょうさく）



北岡 隆之
（きたおか たかゆき）

第2号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:4~15頁）



新海 章
（しんかい あきら）



佐野 鉦一
（さの こういち）

第2号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:4～15頁）



土屋 文男
（つちや ふみお）



水越 尚子
（みずこし なおこ）

第2号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:4～15頁）



桑野 徹
（くわの とおる）

第2号議案

取締役9名選任の件（招集ご通知:4～15頁）



桑野 徹



安達 雅彦



岡本 安史



柳井 城作



北岡 隆之



新海 章



佐野 鉦一



土屋 文男



水越 尚子

第3号議案

監査役1名選任の件（招集ご通知:16～17頁）

監査役 下平 卓穂氏
本定時株主総会終結の時をもって
辞任により退任

監査役1名選任
（前任者の残任期間）

第3号議案

監査役1名選任の件（招集ご通知:16～17頁）



安藤 啓
（あんどう けい）

第4号議案

取締役等に対する業績連動型株式報酬等の額 および内容決定の件(招集ご通知:18~21頁)

導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意識の向上 ⇒株主の皆様と利害を共有
本議案の経過	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 報酬委員会の審議を経過
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在の取締役の報酬限度額とは、(第1期定時株主総会にて承認)別枠で株式報酬を支給

第4号議案

取締役等に対する業績連動型株式報酬等の額
および内容決定の件(招集ご通知:18~21頁)

制度の概要

拠出する金銭の上限

3事業年度を対象に上限 5億円

委託者
当社



信託設定

株式交付ポイントの
付与

株式市場

当社株式

受託者
信託

当社株式
交付

受益者
取締役
執行役員
エグゼクティブフェロー

交付株式の上限

1事業年度あたり上限 61,300株

第4号議案

取締役等に対する業績連動型株式報酬等の額 および内容決定の件(招集ご通知:18~21頁)

対 象 者	✓ 取締役、執行役員、エグゼクティブフェロー
当社が拠出する 金員の上限	✓ 3事業年度を対象 → 500百万円
当社株式の取得 方法および取締役 等に交付等が行わ れる当社株式等の 株式数の上限	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1事業年度 → 61,300株 ✓ 3事業年度 → 183,900株 ✓ 1事業年度あたりの当社発行済株式総数に対する割合 → 約0.07% ✓ 当社株式は株式市場から取得予定 → 希薄化は生じない

第4号議案

取締役等に対する業績連動型株式報酬等の額 および内容決定の件(招集ご通知:18~21頁)

業績達成条件	✓ 毎事業年度の連結営業利益、ROE、サービス型事業売上高、社員満足度等に応じて0%~150%の範囲で変動
取締役等に対する当社株式等の交付等の時期	✓ 対象期間の終了後(2018年度~2020年度)

**その他の詳細な制度の内容は
「招集ご通知」18頁から21頁に記載**

質疑応答

- **ご発言・ご質問の際は、挙手願います。**
- **ご発言の際には、「出席票」の番号とお名前をお願いします。**
- **ご発言・ご質問は、簡潔に、一問ずつお願いします。**

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

第4号議案 取締役等に対する
業績連動型株式報酬等の額
および内容決定の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

第4号議案 取締役等に対する
業績連動型株式報酬等の額
および内容決定の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

第4号議案 取締役等に対する
業績連動型株式報酬等の額
および内容決定の件

議案の採決

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

第3号議案 監査役1名選任の件

第4号議案 取締役等に対する
業績連動型株式報酬等の額
および内容決定の件

TIS株式会社 第10期定時株主総会

閉 会



TIS

TIS INTEC Group

Go Beyond

本日はまことにありがとうございました

新任取締役のご紹介



安達 雅彦
(あだち まさひこ)

新任取締役のご紹介



岡本 安史
(おかもと やすし)

新任取締役のご紹介



北岡 隆之
(きたおか たかゆき)

新任取締役のご紹介



新海 章
(しんかい あきら)

新任取締役のご紹介



水越 尚子
(みずこし なおこ)

新任監査役のご紹介



安藤 啓
(あんどう けい)

退任のご挨拶



前西 規夫



本日はまことにありがとうございました